

はくば 白馬

議会だより

140号



初のオンラインパブリックビューイング
白馬村ゆかりの選手 大活躍!!

■ 村政を問う 一般質問 11p

- ・ 公共施設や学校トイレへ生理用品の設置は 12p
- ・ 地域みらい留学に参加、全国募集の成果は 13p
- ・ 大北管内の給食費負担に差があり過ぎるが 14p
- ・ ケーブルテレビの将来像をどう考えるか 15p
- ・ ゼロカーボンに向けた具体的な行動計画は 16p
- ・ 高齢者福祉サービスに関わる人手は充分か 17p
- ・ 存続にどのような問題意識を持っているのか 18p

■ 特集～R4年度予算

起債減・財政調整基金取り崩しなしは良いが
未来につながる事業を期待する 2p

■ 常任委員会審議

いじめ問題に備え
協議会と調査委員会の条例を設置 6p
大雪により除雪費は相次ぐ増額補正
追加額はなんと!2億1千万円 8p

■ 委員会報告 19p

■ 夢・私たちに。「わたしのひとこと」 20p

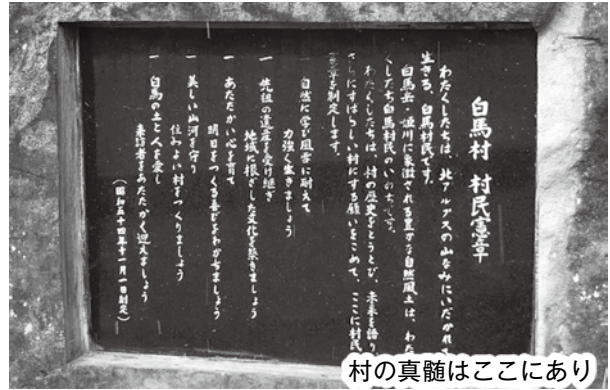
取り崩しなしは良いが 事業を期待する！

新しい仕事をつくりだす村



- 21観光戦略事業
6900万円
- 観光地づくりのための地方創生推進交付事業
1億2000万円

安心してみんなが暮らせる村



村の真髄はここにあり

- 小規模保育所等整備補助金
4500万円
- 証明書等コンビニ交付システム構築導入費
500万円

3月定例会

予算特別委員会に付託された案件は予算審議6件、5日間にわたる予算の適正かつ効率的な執行と事業を主眼に慎重審査しました。予算規模は、歳入歳出総額それぞれ58億7千6百万円。前年度当初予算比2億4千万円の減。

新型コロナウイルス感染症が蔓延している状況下、厳しい財政を認識し、各種施策に優先順位を付け前例踏襲することなく取捨選択し、前年同様の一般財源「枠配分方式」を採り、各課はその範囲で自ら創意工夫する「自己責任・自己決定型予算編成」をした。その結果、5年ぶりに当初からの財政調整基金繰り入れは無しで組んだ。との説明がありました。

予算特別委員会 審査報告

●議案第17号 令和4年度白馬村一般会計予算

ゼロカーボンはなぜ新規予算計上は無いのか

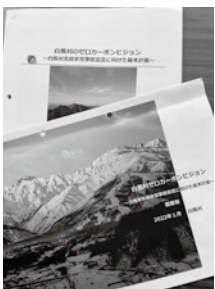
総務課

問 起債減、財調基金の未使用は理解するが、コロナ後を見据えた予算としては消極的では。

答 令和4・5年度は財政的に最も厳しい。健全財政堅持に全職員が取り組んだ結果の予算。コロナ予算は繰越して新年度早々に計画を樹立する。

問 地球温暖化対策事業は、ゼロカーボン宣言している村として、もっと積極的に予算付けできないのか。

答 ゼロカーボン基本計画報告書の答申が1月で、予算編成はそれ以前であり間に合わなかった。複数の支援策があるので今後制度設計する。
意見 基本計画が出来たのだから、少しでも充実の予算を。「広報はくば」で周知するなら特集号を組んでほしい。



ゼロカーボンビジョンに基づく地球温暖化対策費への新規予算計上はない

3月2日~18日
予算特別
委員会

起債減・財政調整基金 未来につながる

魅力ある自然を守る村



- 犬川小水力発電事業
4700万円
- 駅前無電柱化街頭設置に対する地域づくり補助金
200万円

一人ひとりが成長し活躍できる村



- 白馬高校支援事業
9500万円
- 学校環境整備事業
1700万円

問 協働のまちづくり推進補助金の白馬インターナショナルスクール設立準備財団(以下「HIS」)への補助金について、HIS事業の説明を受けていない。ふるさと納税型クラウドファンディングは、誰でも応募できるものなのか。また告知されているか。

答 平成30年に「ふるさと寄付を活用した協働のまちづくり推進補助金交付要綱」を制定。一定の要件を満たしていれば申請は可能。ホームページに掲載し、個別相談には対応している。

問 本村の教育面の課題は白馬高校。行政として何が課題で、HISによってどのような地域課題が解決されるのか。審査委員会の構成は。

答 審査委員は副村長以下課長職。HISのSDGsへの活動、コミュニティ活動への参加などが地域の課題解決になる」と評価した。

※委員からの要請により、HIS設立準備財団の代表から、翌日に事業内容の説明を受けた。

地域要望に応える除雪は

建設課

問 タイヤドーザーとダンプの購入目的と費用は。

答 ドーザーは3t級の小型。除雪や道路維持に使用。購入費は600万円。融雪剤散布用ダンプは10年を経過し故障も多かった。購入費は746万円。

問 無電中化事業で設置される緑地帯への植栽は誰がするのか。歩道の舗装、トランス、街灯だけではとても無機質になるのでは。

答 植栽は県事業。地元と協議し植栽木を決定する。埋設物の関係から緑地帯の大きさも限られてしまい、県道南側は設置できない。適正なものを7年度までに決定する。

問 コロナ禍で地区役員懇談会を開催していない。多くの地区要望に応えられているのか。

答 道路新設といった大型事業はなく、舗装修繕等の細々した要望が多くなっている。道路維持費の工事費1千万円、起債事業の工事費6千4百万円に対応する考え。

各種システムの導入 メリットは

税務課

問 家屋評価システムは、評価済みの家屋データも入力するのか。またシステムの構築者はだれか。

答 民間業者が構築したものの。新築したものを入力、過去の建築の入力もあり得る。

問 様々なシステムを導入するが、徴収と納税の利便性だけでなく、申告上のメリットはないのか。

答 償却資産申告、給与支払報告書、法人村民税の申告が既にオンライン申請になっている。来年度は軽自動車の納税証明がオンライン化される。

実習館の新ストーブ 管理は

農政課

問 有機JAS認定経費負担金は初期のみか、ランニングコストへも補助するのか。

答 認定時及び更新時の経費。更新は毎年する。

問 農業体験実習館の改修についての考えは。貸出し時の新ストーブの後始末は誰がするのか。

答 玄関周りのスロープと身障者用駐車スペースを施工。薪ストーブはベレットも併用できる機器。

問 青年就農給付金は、田植えと稲刈りしかない就農者もみられる。厳格な認定に努められないか。

答 面談の際にひどい耕作の就農者には、補助金を出さない旨を伝えてある。

問 犬川電動ゲート・小水力発電の詳細説明を。

答 県下初の農業スマート化モデル事業。負担率は国55%、県14%、村31%で地元負担12.5%を含む。電動ゲートは、村負担のうち25%を地元飯田区が負担。

ふれあいの杜石彫 復旧は村負担か

住民課

問 リサイクルセンター横のふれあいの杜の

石彫復旧工事費の内訳は。広域連合は費用負担するのか。

答 クレーン費、支障木の伐採、伐採後の植栽費用。広域連合からの補助はない。公園整備は大きな範囲での整備計画を策定していく。

問 ごみ集積場補助金の要望地区は。

答 瑞穂、深空、森上。

問 合併処理浄化槽整備事業が増加傾向となる要因は。

答 下水道区域外のみそら野、めいてつが主。近年外国人の建築需要が高まっているため。

問 区域外流入可能地も浄化槽とするのか。

答 区域外流入が可能ならば許可する。ただし管渠延長費用は申請者持ち。認めるのは自然流下のみでポンプアップは認めない。

観光課

問 八方池山荘建て替えは大きな決断。基本設計委託料400万円の内訳は。

答 規模と内容、その概算費用、法令上の課題整理が主。テラスの充実等も計画策定の際に検討し、丸投げでなく索道や地域の意見も聴く。

問 ドローン事業の4年度からの計画は。

答 推進交付金事業は終了。4年度からは運行実証をもとに事業者が実施していく。村は財政面の支援はしない。

民生委員のなり手 不足解消は

健康福祉課

問 民生児童委員の改選年度。どの地区もなり手不足。課としての考え方と、めいてつ区の欠員についての課の対応は。

答 12月で改選。なり手がいないことは把握。県から年令基準の撤廃を打診され賛成している。めいてつ区には今後も交渉していく。

問 除雪支援員は、年齢制限と県内に血縁者がいる場合は利用できない制度。制限の緩和ができないか。

答 血縁者の件は緩和して行きたい。

学校の在り方とHIS 生徒の受入れは

教育課

問 学校の在り方検討委員会。検討内容をいついて説明を。将来的に統合の方向性は。

答 11月の答申では村の中長期的なビジョンで検討をとの意見。全村民対象アンケートを実施する考え。長寿命化計画では令和18年が延命の期限。統合するか否かの結論は出ていない。

意見 学校の在り方は、地域コミュニティ上では存続だろうが、財政状況や老朽化はよく説明し、行政は統合という選択肢を基本に持つて臨む必要がある。

問 HISの生徒の受入れについて、義務教育課程は中学に席を置くことになる。交流の考えや、机等備品の用意は。

答 法的には中学校に在籍し登校しなければ不登校となる。教委として可と出来るかは頭の痛い問題。教材や教諭の増、備品の準備など、あくまで法に従い対応する。

新規保育所の進出はあるのか

子育て支援課

問 保育所等整備補助金は、事業者の計画は新設か改築か。

答 民間事業者から申し出がある。予算は新築で計上。土地購入費は補助対象外。補助率は国2/3、市町村1/12、事業者負担1/4。

問 不妊治療の状況は。

答 治療と相談ともに増加している。5万円を上限に5名分計上。

図書館の再検討範囲は

生涯学習スポーツ課

問 図書館検討委員会はどこまでリセットして検討をするのか。

答 A・Cコースのみで大会は開催可能。経費を掛けて整備する考えはない。

問 使っていないスノーハープBコースはどうするのか。

答 場所の再検討。駅以外の3カ所で再検討する。基本計画を見直して、施設規模、機能、費用、官民連携等を再検討する。

●議案第18号 令和4年度白馬村国民健康保険事業勘定特別会計予算

歳入歳出総額それぞれ10億1498万9千円。国保税は2億829万9千円、県支出金6億8784万6千円、一般会計繰入金1億490万8千円を計上。歳出の保険給付費は6億7974万1千円。

質疑

問 医療費通知は4か月以上遅れて届き確定申告には使えない。何ための通知か。

答 レセプト点検があるため遅れる。通院等の確認のために送付している。

●議案第19号 令和4年度白馬村後期高齢者医療特別会計予算

歳入歳出総額それぞれ10億780万円。保険料は広域連合資料に基づき8015万円を、一般会計繰入金2736万3千円を計上。歳出の広域連合負担金は1億538万4千円。

●議案第20号 令和4年度白馬村農業集落排水事業特別会計予算

歳入歳出総額それぞれ393万7千円。

●議案第21号 令和4年度白馬村水道事業会計予算

水道事業収益は3億980万1千円。水道事業費用は2億6671万2千円。二股浄水場運転管理委託料、倉下送水ポンプ修繕費、検満メーター取替工事などの経費が主なもの。

資本的収入は4885万3千円。駅前無電柱化移転補償費用、企業債、一般会計からの出資金。資本的支出は1億4817万6千円で、無

電柱化に伴う水道設備の移転、配水管布設工事4カ所、機器更新工事2件のほか水道ビジョン更新の検討業務委託料などが主なもの。

質疑

問 めいてつ区の更新範囲は、それ以外も老朽化している。どちらに比重を置き更新する考えか。

答 めいてつ区更新は、300mを飯森側の給水不良の解消も兼ねる。村内の基幹管路は更新を急ぐ。給水不良箇所は早急に対応が必要。民地内配管も残っていてバランスを見ながら施工する。

●議案第22号 令和4年度白馬村下水道事業会計予算

下水道事業収益は4億7850万6千円。

資本的収入は3億6224万5千円。資本的支出は4億7568万8千円。浄化センターストックマネジメント計画策定費委託料2715万円のほか、無電柱化関係、長期債償還元金、職

員人件費などを計上。一般会計からの補助金は、収益的・資本的合わせて3億3950万円、前年同額。

質疑

問 ストックマネジメント計画は何に活用していくのか。

答 下水道全般の更新計画。今回は処理場の更新に必要。

問 下水道区域の拡張はもう困難と考えるのか。ダメな理由は資金か人員か。

答 下水道会計は資金がなく今以上の拡張は無理。人員を増やしても設計など専門的知識を必要とする。職員の頭数だけの問題ではない。

予算特別委員会採決結果

| 議案 | 採決 | 結果 |
|--------|----|----|
| 議案第17号 | 可決 | 全員 |
| 議案第18号 | 可決 | 全員 |
| 議案第19号 | 可決 | 全員 |
| 議案第20号 | 可決 | 全員 |
| 議案第21号 | 可決 | 全員 |
| 議案第22号 | 可決 | 全員 |

いじめ問題に備え 協議会と調査委員会の条例を設置

総務社会委員会

●議案第2号 内山辺地ほか2辺地に係る総合整備計画の策定

令和4年度から8年度まで5年間の、内山辺地ほか2辺地に係る総合整備計画の策定。

3辺地の整備計画は、内山辺地ではスノーハーブメイン会場法面および木橋の改修、落倉辺地では村道3101号線改良。野平辺地では、重要伝統的建造物群の土蔵保存工事。青鬼、通の青鬼辺地は、辺地条件の人口50人以上に満たないの、野平辺地に統合。

●問 スノーハーブの改修場所は、落倉の村道3101号線は、小谷村側の西側に入る未舗装部分か。

●答 スノーハーブメイン会場の東側法面と正面の木橋で、落倉は

そのとおり。

●議案第3号 白馬村八方体育館の指定管理者の指定

指定期間満了に伴い、一般財団法人八方振興会に再指定するもの。指定期間は令和4年4月1日から9年3月31日までの5年間。

●問 指定管理は体育館だけか。他地区でも利用は可能か。

●答 村の資産は体育館のみ。よって指定管理施設は体育館のみ。申込みをすれば可能。

●議案第4号 白馬村執行機関の付属機関の設置等に関する条例の一部を改正する条例

いじめ防止対策推進法により、いじめ問題対策連絡協議会は条例設置とされ、現在の設置要綱を廃止し条例で位置づけ。いじめ問題調査委員会も

同様。

●問 調査委員会の弁護士等は、その都度人選か。

●答 その都度人選し、弁護士は村の顧問弁護士に相談、他の委員は県の教育委員会に相談、なお事務は総務課所管。自殺等の重大事案の調査であり、調査委員会設置は村長。

●問 いじめ問題が、前面に出て皆が敏感になるが、いじめ対応は。

●答 いじめを早期発見し、いじめの芽を早く摘むように対処しているため、件数は多くなっている。よく見ているから件数は伸びると理解。

●議案第5号 白馬村特別職の職員で、非常勤の者の報酬に関する条例の一部を改正する条例

白馬村執行機関の付属機関に、いじめ問題対策連絡協議会の条例設置に伴い委員報酬を、日

額61000円、半日額38000円とする。

いじめ問題調査委員会委員報酬は、弁護士等の委嘱を予定していることから専門の知識を有し社会通念上その報酬を考慮すべきと判断される者の項を適用。

●議案第6号 ふるさと白馬村を応援する条例の一部を改正する条例

ふるさと白馬村を応援する条例の、事業区分ごとの積立額が1億円を超える場合は、超えた額について当該事業以外にも、事業区分変更して積み立てができるものとする。

●問 事業区分による基金積み立てが、指定以外の事業区分になる旨を告知して、寄付を受けるのか。

●答 寄付者には、制度改正を周知してから寄付採納となる。

●議案第7号 白馬村税条例の一部を改正する条例

法人村民税の法人税割の税率を、100分8.4から100分6に改正、令和5年4月1日施行。但し、法人村民税の法人税割の特例規定を附則に設け、令和5年3月31日から8年3月31日までの間に終了する各事業年度(3年間)に係わる法人税割の税率を100分7.2とするもの。

●議案第8号 白馬村国民健康保険税条例の一部を改正する条例

全世代対応型の社会保障制度を構築するための健康保険法等の一部を改正する法律の施行に伴う改正。

●議案第9号 白馬村廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例

生活雑排水槽汚泥の運

搬処理手数料を、処理費用の値上げに伴い1リットル当たり23円から27円に改正。

問 4円の値上げの影響は、標準家庭ではどのくらいか。

答 雑排水の汲み取り量が多い家庭で、2万1千円程度。

議案第11号 白馬村消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例

国民年金法等の一部改正に伴い、日本政策金融公庫及び沖縄振興開発金融公庫が行う、恩給担保貸付事業の廃止に伴う条例の整理。

議案第12号 令和3年度白馬村一般会計補正予算(第9号)所管事項

歳入歳出予算の総額にそれぞれ1億4170万3千円を追加し、総額を67億7264万5千円とするもの。

総務課

コロナ感染により、南小

北小の姉妹都市交流の中止による453万7千円の減額。ふるさと納税事業費の特定財源分を1892万9千円減額。

問 寄附金について、総務課科目に計上の金額と、寄附金の金額両方が減額の意味は。

答 当初計上額が過大であった。各事業の割振りとして指定なしで、村長が指定したものと調整分もある。

住民課

社会保障・税番号制度システム整備委託料209万6千円の増額。保険基盤安定繰入金確定に伴う国民健康保険事業特別会計繰出金の874万円の減額。

健康福祉課

佐野区ふれあいセンター1建設取下げ書が、令和3年11月5日に提出され、962万2千円の減額。

問 取下げ理由は。

答 コロナ禍で、建築費用が1.5倍から2倍に高騰したことによる。

教育課

中学校女子トイレの洋式化工事に481万6千円の増額。燃料費、光熱水費の高騰により、南小学校管理事業116万9千円、北小学校管理事業130万円の増額。

問 南小はPTA作業で断熱材を入れた経緯があるが、次年度の計画はあるか、次年度の計画はいつあるか、次年度の計画は聞いていないが、継続したいとの話は聞いている。

子育て支援課

児童手当等給付事業副食費補助金で、1348万2千円の減額。

子育て世帯生活支援特別給付金事業は、コロナ禍で家計急変世帯の増加により200万円の増額。しろうま保育園職員募集に応募がなく、人件費610万円減

額。子育て支援ルーム職員募集に応募がなく、人件費101万8千円減額。

問 保育士の処遇改善加算に、しろうま保育園の保育士はないか。

答 村の保育士も該当するが、見込んでいない。まずは民間からと、総務課と協議。交渉は継続する。令和4年9月まで補助できる。10月からは公定価格に含まれ施設型・地域型給付費で交付される。

生涯学習スポーツ課

燃料光熱水費196万3千円の増額と、ウイング21の大雪による屋根補修と、正月の強い寒気により、2階口ビートの温水パネルヒーターが凍結。その後の漏水で、エレベーター設備・スプリンクラー・床材等の修繕費552万8千円の増額。

問 この冬は低温日が続き、コロナによる休館日も多かったが、今後の管理の徹底は。

答 課内で注意し、修繕は繰り越して施行。

総務社会委員会採決結果

| 議案 | 採決 | |
|--------|----|----|
| 議案第2号 | 可決 | 全員 |
| 議案第3号 | 可決 | 全員 |
| 議案第4号 | 可決 | 全員 |
| 議案第5号 | 可決 | 全員 |
| 議案第6号 | 可決 | 全員 |
| 議案第7号 | 可決 | 全員 |
| 議案第8号 | 可決 | 全員 |
| 議案第9号 | 可決 | 全員 |
| 議案第11号 | 可決 | 全員 |
| 議案第12号 | 可決 | 全員 |
| 議案第13号 | 可決 | 全員 |
| 議案第14号 | 可決 | 全員 |

●議案第13号 令和3年度白馬村国民健康保険事業勘定特別会計補正予算(第3号)

歳入歳出予算の総額にそれぞれ874万1千円を減額し、総額を10億6506万円とするもの。

問 傷病手当金60万円の算出根拠は。
答 ひとり3万円で20名を想定。

●議案第14号 令和3年度白馬村後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ242万5千円を減額し、総額を1億313万1千円とするもの。

後期高齢者医療保険料は年度末を見込み242万円の減額。金額の確定により、繰入金は32万6千円の減額、繰越金は32万1千円の増額。歳出では、広域連合負担金243万6千円の減額。

大雪により除雪費は相次ぐ増額補正 追加額はなんと！2億1千万円

産業経済委員会

●議案第10号 白馬村山小屋条例の一部を改正する条例について

山小屋の宿泊料金を素泊まり料金のみとし、利用料は大人一泊1万円、小学生5千円、小学生未満3千円。

問 食事を含む料金は。

答 食事料金は指定管理者が設定し村長の承認が必要。食事込みの宿泊料金は1泊2食付き大人1万3千円、子供7500円を計画。

●議案第12号 令和3年度白馬村一般会計補正予算(第9号)所管事項

観光課

新型コロナウイルス感染症対策第6波対応事業者支援金7096万円が主なもの。

問 第6波対応事業者支援金について、見込み事業者数は。

答 経済センサスによる事業所数は965件。こ

れまでの感染対策支援の実績などを踏まえ700件。審査認定機関は白馬商工会を想定。

問 2020年に開業していない事業への特例は。

答 2021年3月以降の開業者はこの支援金の対象外。国の事業復活支援金を活用してほしい。

上下水道課

合併浄化槽整備事業補助金の事業確定により425万3千円の減額が主なもの。

建設課

除雪事業の委託料1億1千万円、無散水電気料の光熱水費に200万円が主な増額。

農政課

青年就農給付金2名分300万円の増額。農地集積協力金に北城南部地区ほ場整備事業協議会へ266万5千円が主なもの。

北城南部地区ほ場整備事業の事業前倒しに2533万8千円の増額。犬川用水電動ゲート設置・小水力発電事業の設計委託料254万円減額が主なもの。

問 新規就農者の補助条件は。

答 法律では49歳までが対象。面積要件は無く、農地は賃貸でも可能。労働時間は1200時間、所得は250万円が最低目標。

問 農地法では30aの農地を所有している者でない農地を取得出来ないが、新規就農者が農地を取得するためには。

答 30a以上の農地を耕作し、営農実績を積んで農業委員会が審査し、認められれば農地の購入は可能となる。



国道の排雪作業

●議案第15号 令和3年度
白馬村水道事業補正予算
(第2号)

収益的収入に1440万円を増額し3億1147万9千円、収益的支出から240万円を減額し2億5556万4千円とするもの。

●議案第16号 令和3年度
白馬村下水道事業補正予算(第2号)

収益的収入に649万9千円増額し5億2183万2千円に、収益的支出から931万5千円減額し5億566万9千円に。資本的収入額から1億647万3千円減額し3億3217万7千円に、資本的支出から737万4千円減額し4億5449万1千円とするもの。

●問 一般会計補助金の不
要額は一般会計へ返
金しては。

●答 下水道事業は建設改良の積立も出来ないの、節約しながら可能な限り内部留保していきたい。

●陳情第1号 消費税「適
格請求書(インボイス)方
式」の実施延期を求める
意見書

陳情内容は新型コロナウイルス感染症拡大により、地域の雇用不安や中小企業の経営不振が広がっており、その中、来年10月より開始される消費税の「適格請求書」いわゆるインボイス制度について、当面実施の延期を求める意見書を国に提出するもの。

産業経済委員会採決結果

| 議案 | 採決 | |
|--------|----|----|
| 議案第10号 | 可決 | 全員 |
| 議案第12号 | 可決 | 全員 |
| 議案第15号 | 可決 | 全員 |
| 議案第16号 | 可決 | 全員 |
| 陳情第1号 | 可決 | 全員 |

発議第1号 地域高規格道路「松本糸魚川連絡道路」の早期建設を求める
意見書

反対討論 尾川 耕

議会として県に「早期建設を求める意見書」を出せば、村民の「総意」に基づいた意見であると誤解される。白馬での意見交換会は20年以上前の計画は1994年頃に作られた国の政策として進められている。一旦具体的に動き出すと止めることができなくなる。まずは今の住民や「将来世代」の要望を聞く必要がある。

賛成討論 松本喜美人

長年、熱望している道路であり、白馬の発展、村民の福祉向上、平成26年の神城断層地震を経験した者にとっては、災害からの復興のためにも必要。要望事項には、白馬村内区間の調査

及び検討について、鋭意前進を図ることとあり、村内計画について村民意見を集約するうえでも、長野県からの村内ルート案の提示が必須。

反対討論 加藤ソフィー

計画当初はオリンピックの開催やスキーブームにより、大渋滞は当たり前な時代。20年以上経った今、環境は大きく変化し、若い世代や移住してきた方々はこの計画自体をよく知らない方も大勢いる。多額のお金をかけた新しい道路をつくるのが最善策であるか、改めて議論し直すことが必要。計画の村民への周知の徹底が先。

議案第23号 訴えの提起について

反対討論 加藤亮輔

この議案は、北城の道路地の所有権争いです。数十年にわたって、こじれた話ですが、行政は、役人のヨロイを

脱いで、被告ともどもお互いが歩み寄り、対話で解決すべきと考えます。また行政が住民を訴える行為について議員として賛成できません。

● 3月定例会 議決結果 ●

| 件名 | 議決結果 |
|--|-----------------|
| 内山辺地ほか2辺地に係る総合整備計画の策定について | 可決 |
| 白馬村八方体育館の指定管理者の指定について | 可決 |
| 白馬村執行機関の附属機関の設置等に関する条例の一部を改正する条例について | 可決 |
| 白馬村特別職の職員で非常勤のもの報酬に関する条例の一部を改正する条例について | 可決 |
| ふるさと白馬村を応援する条例の一部を改正する条例について | 可決 |
| 白馬村税条例の一部を改正する条例について | 可決 |
| 白馬村国民健康保険税条例の一部を改正する条例について | 可決 |
| 白馬村廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例について | 可決 |
| 白馬村山小屋条例の一部を改正する条例について | 可決 |
| 白馬村消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例について | 可決 |
| 令和3年度白馬村一般会計補正予算(第9号) | 可決 |
| 令和3年度白馬村国民健康保険事業勘定特別会計補正予算(第3号) | 可決 |
| 令和3年度白馬村後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号) | 可決 |
| 令和3年度白馬村水道事業会計補正予算(第2号) | 可決 |
| 令和3年度白馬村下水道事業会計補正予算(第2号) | 可決 |
| 令和4年度白馬村一般会計予算 | 可決 |
| 令和4年度白馬村国民健康保険事業勘定特別会計予算 | 可決 |
| 令和4年度白馬村後期高齢者医療特別会計予算 | 可決 |
| 令和4年度白馬村農業集落排水事業特別会計予算 | 可決 |
| 令和4年度白馬村水道事業会計予算 | 可決 |
| 令和4年度白馬村下水道事業会計予算 | 可決 |
| 訴えの提起について | 可決 反対:尾川・加藤 |
| 令和3年度白馬村一般会計補正予算(第10号) | 可決 |
| 同意 | |
| 白馬村固定資産評価審査委員会委員の選任について | 同意 |
| 発委 | |
| 白馬村議会会議規則の一部を改正する規則について | 可決 |
| 消費税「適格請求書(インボイス)」の実施延期を求める意見書 | 可決 反対:松本 |
| 発議 | |
| 地域高規格道路「松本糸魚川連絡道路」の早期建設を求める意見書 | 可決 反対:加藤ソ・尾川 |
| ロシアのウクライナ侵攻を強く非難する決議 | 可決 |

● 請願・陳情文書 ●

| 提出者 | 住所 | 要旨 | 審査結果 |
|------------------------|-----|---------------------------------|----------------|
| 北アルプス民主商工会 会長 種山 博茂 | 大町市 | 消費税「適格請求書(インボイス)方式」の実施延期を求める陳情書 | 採択 反対:津滝・松本 |

● 令和4年第1回臨時会 議決結果 ●

| 件名 | 議決結果 |
|-----------------------|------|
| 令和3年度白馬村一般会計補正予算(第8号) | 可決 |

一般質問

村政を問う

安全で活力ある
村づくりをめざして

一般質問は、議員の日常活動と調査・研究、住民の声や自身の考え方をもとに、村長や教育長などの方針を問うものです。

白馬村は1問1答方式で、1人60分の制限時間内であれば、質問回数に制限はありません。

議会だよりでは、紙面の都合上、質問者が要約して掲載しています。

本会議はユーテレ白馬でご覧いただけます。

質問内容

- ・ 公共施設や学校トイレへ生理用品の設置は… 12
- ・ ゼロカーボンに向けた具体的な行動計画は… 16
- ・ 地域みらい留学に参加、全国募集の成果は… 13
- ・ 高齢者福祉サービスに関わる人手は充分か… 17
- ・ 大北管内の給食費負担に差があり過ぎるが… 14
- ・ 存続にどのような問題意識を持っているのか… 18
- ・ ケーブルテレビの将来像をどう考えるか… 15

フォトニュース



2年7か月遅れの白馬村最後の成人式(3月20日)
次からは、「二十歳の集い」に名称変更

公共施設や学校トイレへ生理用品の設置は

需要を把握した上で行う

答

れた女性の方への提供、公共施設、学校のトイレへ生理用品を設置する考えは。



田中 麻乃 議員

問

「ジェンダー平等社会の実現を目指す男女共同参画への取り組み」

答

生理の貧困における村の取り組みや考えは。

問

住民の生活支援の一部であるとして、緊急小口資金、さらに総合支援資金の相談を積極的に受付。令和2年4月以降令和4年2月まで、延べ306件、1億1900万円余りの資金貸付を実行。

答

金銭だけでなく、小口資金のご相談に来ら

環境を整え、女性管理者も当たり前という社会の実現に向け取り組む。

問

男女共同参画推進の取り組み状況は。

答

村民向けには、子育てや人権、DV等の講演実施。職員向けのハラスメント研修会開催等を行っている。

問

村職員、議会、行政委員会である教育委員会、選挙管理委員会、監査委員、農業委員会などの女性の公職参加率は。

答

多くの委員会で女性委員がいなのが実情。庁内の女性職員比率は、令和3年度で、85名中24名の28.2%。行政委員会及び主だった審議会数41の女性割合については、371人中65人で、17.5%。女性の公職参加は、それ自体が重要な目標の一つであり、行政、立法機関に女性が参加すれば、女性、子ども、家庭に焦点を充てた政策や立法につながる。

問

村第三次男女共同参画社会づくり計画は第一次から14年ほど経過。これまで新たな課題をどのように把握し改善したか。

答

社会全体の慣習で女性の社会参画に対し消極的な意識が薄れないのは若年層ではなく上の階層。一次から三次を通してその年代に意識を変えていたかないと社会形成は厳しく、なかなか進まないことから計画そのものの内容があまり変わっていない。

問

庁内の女性管理職(課長級)は直近10年で2人。管理職への女性登用は

答

前向きに考えたい。

問

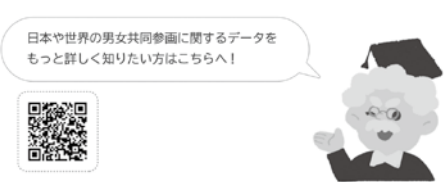
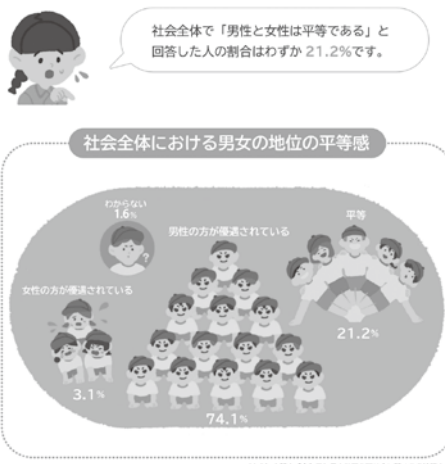
どのようになっているか。

答

適正年代にもうじき達する職員もいる。女性管理職の登用を、積極的に進めたいと考えている。

問

長野県飯島町は平成30年に男女共同参画プラン見直しのため、住民に実態調査としてアンケートを行なっている。村の男女格差の実態や村民の意識を把握するために、次回計画見直しの際に住民アンケートを取り入れては。



内閣府男女共同参画局: みんなで目指す! SDGs×ジェンダー平等よりまだまだ根強い男女格差を表している。



切久保 達也 議員

問 地域みらい留学に参加、 全国募集の成果は

答 成果に繋がらないが 来年度以降に反映させる

【白馬高校】
前期受験者数・後期
志願者数は。
普通科16名募集19名
が受験、国際観光科18
名の募集18名が受験、後期
受験志願状況は、普通科7

名、国際観光学科はゼロと
大変憂慮すべき数字。

問 公営塾では大学受験
対策に特化した特進
クラスを設置したが、受験
した主な大学は。また連携
について具体的な計画は。

答 すぐ結果に繋がるこ
とは難しいが、今年度
決まっている大学は、静岡
文芸大学・松本大学など。昨
年度は、鳥取大・京都外大・
名古屋外大・近畿大など。ま
た、信州大学と連携協定し
た。計画として國學院大は、
4月より「観光まちづくり
学部」が開設、白馬高校から
1名進学。観光学科の進学
先の1つとして指定校につ
なげていくよう図っている。

問 地元中学校への情報
発信や交流は。

答 奨学金の返済の補助
など創設しているが
保護者に伝わっていない。地
元中学生へメリットを伝え
るよう準備を進めている。
交流については、高校生が小
中学生のスキー実習インス
トラクターを行うなど、様々
な提案を含め検討したい。

問 昨年11月に四国3校
視察したが参考点は。

答 どこも小さい町で財
政力指数は白馬より
格段に低い自治体であるが、
立派な寮を持ち地元高校の
存在価値を、自治体をあげ
て守っている。小中高一貫
教育に取り組み、地元の子
が地元の学校へ通っている。
長野県は遅れている。

問 地籍調査の今後 の予定は

答 今年度中に八方 地区は終了予定

【地籍調査】
問 昭和63年より佐野地
区よりスタートし、既
に34年経過。当初の計画で
は平坦地部分を20年ほどで
完了する計画と伺っている
が、進捗状況は。

答 現在は八方地区の調
査を進めている。ま

た2102平米のうち
1298平米の調査が終了
し、令和4年度には同地区
を完了させる予定。

問 調査が完了した地区
の課税は、全地域完了
の段階から固定資産税に反
映される。調査開始から既
に30年以上経つが、いつに
なるのか。

答 中部地区の
調査が終了
した時点の一つの
タイミングと考え
る。この方針を基に
令和3年度2回課
長会議において協
議した。令和9年度
の評価替え時には
例外的な取扱いを
改め、地籍調査後の
登記面積で課税を
考えている。

問 北城北部地
区では圍場
整備事業やスキ
ー場周辺での開発な
どが計画されてい
る。しかし地籍調査
が着手されないこ
とで、新たな測量が

必要になるなど、その効果
が得られない。北城北部地
区への着手予定は。

答 最短で令和10年頃。
現在、圍場整備事業の
計画が進んでいるが、国土
調査法第19条の5項の規定
に基づき、圍場整備の測量
成果が地籍調査と同様にな
ると理解している。



四国の高校寮を視察、寮内にトレーニングジムが完備されている

大北管内の給食費負担に差があり過ぎるが

予算が行き届かない

答



加藤 亮輔 議員

問 【義務教育無償化に見合う給食費を含む学校徴収金】

問 給食費の補助額を池田町・松川村は小学生3万5800円、中学生3万6600円に拡大。白馬村の給食費の年額と補助額は。

答 教育長 年額は、小学生は一食280円で

最大4万9千円。中学生は一食325円で最大5万2千円を負担。村の補助額は、小学生一食当たり10円、中学生一食当たり20円。総額は158万5千円。ま

た、第三子以降の免除額は296万8千円、準要保護者及び特別支援学級に就学する児童生徒等の保護者への補助額が397万4千円、総額852万8千円。

問 白馬村は、小学生一食10円、中学生20円で

年間給食提供日200日で小学生が2千円、中学生は4千円の補助金。同じ大北管内で補助額が2千円と3万5千円、この差は看過できない。見解は。

答 取り組みはしているが、観光で生きる村として観光予算に拠出、除雪費もかかる。池田・松川の面積は、白馬村の1/4ぐらい。

問 各自治体の決算を比較すると、2010年度白馬村は、決算総額の6.8%が教育費に使われ、2019年度までの10年間

平均は8.2%。池田町の教育費は10年間平均で12.9%。松川12%。また、類似自治体の10年間比較でも白馬村は8.2%で類似団体は10.2%で2%違う。1%は大体6千〜7千万だから、年間1億2〜3千万円で、10年で12〜13億の違いが出る。教育事業格差の原因と

答 副村長 教育費の割合を中心的に説明さ

れたが、平成27年度の村の予算は71億。この年は、神城断層地震等で災害復旧費が膨らんでいる。教育費を削ったわけではないが比率は下がる。また平成30年度は一番多く給食センターの建設が含まれる。ハードを含めた指標は何かがあるのかと考える。

| 年度 | 大北4町村決算カード比較（教育費の割合） | | | | | | | | | | 10年間の平均値 |
|-------------|----------------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| | 2010 | 2011 | 2012 | 2013 | 2014 | 2015 | 2016 | 2017 | 2018 | 2019 | |
| 池田町 II-2 | 歳出合計 | 4,353,922 | 4,563,341 | 4,770,899 | 4,879,593 | 4,994,667 | 4,752,360 | 4,799,702 | 5,242,333 | 5,443,440 | 6,053,830 |
| | 教育費 | 384,597 | 381,219 | 445,432 | 513,842 | 423,231 | 526,068 | 623,939 | 1,043,125 | 1,064,560 | 1,176,836 |
| | 割合 | 8.8% | 8.4% | 9.3% | 10.5% | 8.5% | 11.1% | 13.0% | 19.9% | 19.6% | 19.4% |
| 松川村 II-1 | 歳出合計 | 4,537,939 | 3,640,816 | 3,936,208 | 3,766,144 | 3,995,764 | 4,343,930 | 4,289,357 | 4,173,641 | 3,984,532 | 4,401,729 |
| | 教育費 | 584,311 | 374,028 | 789,120 | 381,604 | 546,793 | 371,022 | 380,556 | 481,682 | 427,784 | 588,120 |
| | 割合 | 12.9% | 10.3% | 20.0% | 10.2% | 13.8% | 8.5% | 8.9% | 11.5% | 10.7% | 13.4% |
| 白馬村 II-2 | 歳出合計 | 5,532,444 | 4,399,517 | 4,591,844 | 4,734,925 | 5,724,124 | 7,182,841 | 7,451,009 | 6,215,376 | 6,977,699 | 6,308,459 |
| | 教育費 | 375,337 | 289,102 | 381,009 | 337,192 | 355,941 | 296,924 | 395,293 | 437,671 | 1,371,518 | 652,698 |
| | 割合 | 6.8% | 6.6% | 8.3% | 7.1% | 6.2% | 4.1% | 5.3% | 7.0% | 19.7% | 10.3% |
| 小谷村 I-2 | 歳出合計 | 4,319,350 | 3,925,140 | 3,711,615 | 3,864,654 | 3,964,105 | 5,151,623 | 7,565,152 | 7,407,116 | 8,415,648 | 4,466,103 |
| | 教育費 | 239,523 | 211,640 | 199,736 | 205,253 | 223,847 | 230,965 | 258,405 | 371,280 | 393,167 | 364,333 |
| | 割合 | 5.5% | 5.4% | 5.4% | 5.3% | 5.6% | 4.5% | 3.4% | 5.0% | 4.7% | 8.2% |
| 年度 | 2010 | 2011 | 2012 | 2013 | 2014 | 2015 | 2016 | 2017 | 2018 | 2019 | 平均値 |
| 白馬村 | 歳出合計 | 610,578 | 485,578 | 504,931 | 513,438 | 613,293 | 770,360 | 807,347 | 672,369 | 738,615 | 686,169 |
| | 教育費 | 41,423 | 32,201 | 41,897 | 36,564 | 38,509 | 31,845 | 42,832 | 47,346 | 145,180 | 68,821 |
| | 割合 | 6.8% | 6.6% | 8.3% | 7.1% | 6.2% | 4.1% | 5.3% | 7.0% | 19.7% | 10.3% |
| 類似団体 | 歳出合計 | 650,451 | 630,518 | 645,217 | 664,288 | 753,760 | 702,973 | 751,840 | 767,582 | 787,520 | 800,888 |
| | 教育費 | 80,905 | 67,130 | 67,999 | 72,681 | 74,677 | 69,767 | 67,132 | 69,689 | 70,821 | 84,079 |
| | 割合 | 12.4% | 10.6% | 10.5% | 10.9% | 9.9% | 9.9% | 8.9% | 9.1% | 9.2% | 10.5% |



増井 春美 議員

ケーブルテレビの将来像をどう考えるか

地域に寄り添った情報基盤の事業を行う

問 ケーブルテレビの未来像
答 事業の現状と課題は。加入世帯数は現在2164件、指定管理者と契約中で地域に密着し

た情報提供等を実施。課題として、本体設備や付帯設備の老朽化、地上放送番組のネット配信や映像配信サービスなどの拡大による加入率の停滞、移動通信サービスの高度化への対応など、ケーブルテレビを取り巻く環境の変化は大きな課題。

問 事業を健全運営するための加入世帯数は。

答 開局にあたり1800〜1900世帯の加入数があれば健全な事業運営としていた。この算出は、指定管理者との基本協定で管理責任分担を詳細に決めている。村が負担する経費を除けば、現状では健全経営といえる。

問 加入促進のためのキャンペーン実施は。

答 引き込み工事にかかると実際の工事金額は、利用者から徴収する負担金額より高いため、更なる負担が生じることから、このようなキャンペーンは考えていない。

問 村民サービスの情報基盤としての未来像は。

答 ケーブルテレビを取り巻く環境は近年大きく変化している。これからの時代は、今以上に情報収集の選択肢が増えてくると予測する。地域に寄り添った情報基盤として引き続き事業を行っていく。

問 歴史民俗資料館の利用客がほとんどないが

答 地域の皆さんに来館いただけるよう考える

問 歴史民俗資料館の未来像

答 歴史民俗資料館の現状と課題は。

問 白馬村振興公社が指定管理者として運営。課題として村民の歴史民俗に対する意識を高め、入館者数を増やすこと、所蔵スペースの確保等が挙げられる。

問 文化財保護委員(資料館運営委員)の活動内容。

答 近年では歴史民俗資料館の所蔵調査を、学芸員と文化財審議委員を中心に6年間かけて整理し、デジタルデータとして保存し活用方法について検討を行っている。また資料館の利活用についての協議も行っていく。

問 文化財保護委員による現状把握、総合判断は。

答 文化財保護委員による資料館運営委員会での様々な課題を検討していただく中で、資料館の現状を把握いただき、所蔵品の管理等についての課題を指摘いただいている。あらゆる角度から検討しての総合的な判断については、村民利用を高め、それが観光

客への利用にも繋がるよう取り組みをしていきたい。

問 村民に開かれた歴史民俗資料館運営の将来像は。

答 歴史文化を継承していくことは、将来の貴重な財産となる。これまでに実施してきた所蔵品調査も区切りがいたので、来年度以降は文化財審議会委員の意見も伺いながら、地域の皆さんにご来館いただけるよう施策を展開したいと考えている。



白馬村歴史民俗資料館の展示品

問 ゼロカーボンに向けた 具体的な行動計画は

答

これから優先順位をつけて決めていく



加藤 ソフィー 議員

〔ゼロカーボンビジョン〕

問 この基本計画の位置づけは。

答 2019年12月に気候非常事態宣言、2020年2月にゼロカーボンシティ宣言を行い、今回策定したものはこれらの宣言に向けた道筋を描き、達成するための基本計画。

問 目標を達成するための具体的な施策は。

答 まずは村民全員が現状を知り、できることから取り組みを始めることが大切。「広報はくば」で、こ

の計画についてシリーズ掲載し、まずは内容の周知を計っていく。再生可能エネルギーに関する基本方針等から答申された重要施策について取り組むべき内容の優先順位をつけ、スピード感を持って対応していく。村としては既に着手している小水力発電事業もあり、できることから取り組む。

問 協議会の第1回目の資料では具体的な行動計画を策定していくと記されているが、計画には行動計画が記載されていないが、進めていく中で、絞り込むことができず、現状を調べるのが先だった。

問 目標が漠然としていくのは難しいのでは。またさらに計画を作っていく予定なのか。

答 具現化するために、国の「脱炭素先行地域」の認定に向けて、現時点では予算は計上していないが、今後取り組んで行きたい。

問 先行地域の公募は、なぜ2月の締め切りで応募しなかったのか。

答 区域を設定せずに応募が低くなるということもあり、次の機会を狙うこととした。

問 ゼロカーボンに関する事業で予算は計上しているか。

答 全体的な新規事業としては犬川の小水力発電と薪ストーブ導入補助金、学校の照明LED化そして庁舎の空調工事がある。直接的にゼロカーボンに向けたものは、毎年行っている500万円のEV車の普及事業がある。

問 準備会を含めて1年

答 再生可能エネルギーを優先的導入と、化石燃料を減らすことをやっていかなければ、ゼロカーボンは達成できないとされた。一部で取り組んでも達成はできないことで、一人ひとりの意識が大切であることから、まずは村民への周知を行う。

問 「広報はくば」以外での周知の予定は。

答 まだ決めていないが、ケーブルテレビ等の各媒体を使いながら行っていく。

問 HPのトップにゼロカーボンビジョンの特設ページを設けては。

答 分かりやすくすると、検討した点に関しては、検討したい。

問 この計画に関連する活動を行う民間の団体への支援の考えは。

答 現行の制度で、協働のまちづくり支援事業というものがある。

白馬村のゼロカーボンビジョンに向けた4つの重点施策

一刻も早い行動が必要とされるが、果たしてどのようにこの重要施策を推進していくのか。注視していきたい。

問 地球温暖化対策の業務に当たっている職員の数。また、増やす考えは。

答 専任の担当はいないが、4名が兼務。増やすのは難しいが、業務をシフトしていくという対策は取っていく。また、職員から見本を示すような行動ができるようにしていきたい。



横川 恒夫 議員

問 高齢者福祉サービスに関わる人手は充分か

答 多くの分野で人手不足が深刻化している

【高齢者が冬期間安心して暮らせる環境づくり】
問 特別豪雪地帯除雪支援員派遣事業では、自己の資力及び労力をもって屋根雪等の除雪ができない高齢者等の世帯に対し、除

雪に要する費用の一部に補助を行なうが、今年のように大雪になれば依頼する回数も増え負担が多くなる。補助金の増額の考えは。

答 屋根雪の除雪を伴う場合は1時間1625円、家から生活道路までの除雪の場合は10000円の補助をする制度で、当該事業は県の2分1の補助を受け実施している。雪の多いときは補助金の増額等については、県に対し要望する。

問 外出の際に移動手段のない人のデマンドタクシーの利用状況は。

答 平成20年の開始当初より利用者は増加している。特に冬期間において利用者が増え、令和2年2月期の1日当たりの平均乗車人数は39.3人の最高を記録し、年間の利用者数では平成24年度に8000人を超え、その後は横ばい状態で現在まで推移している。最近の利用状況は、新型コロナウイルスの感染症の影響を受け、減少している。

問 デマンドタクシーを多くの人に利用していただく対策は。

答 利用対象年齢を65歳以上としていたものを50歳以上に引き下げ、移動に介助を必要とする方が利用しやすいよう、有料と無料とした。令和2年度からは包括支援センター職員のサポートにより予約から実際に使ってみていただく、「デマンドチャレンジ」を開始するなど利用拡大に努めている。

問 高齢者福祉サービスとして、食事・移動見守りなどの支援をしているが、これらに関わる人手は充分か。

答 食事に関しては、しろうまメディアが村の委託を受け実施している高齢者への配食サービスのほか、民間の2つの事業者による配食サービスがある。いずれも弁当の配達・回収時に安否確認も兼ねている。移動については、デマンドタクシーの他にも、車いす

の方等が通院等に利用できない福祉車両を使用した移送サービスを行っている。見守りについては、民生委員による担当地域の見守り活動をはじめ、緊急通報装置貸与事業や訪問ヘルパーが電話で安否確認を行う「安心コール事業」に加え、本年度からはボランティアが電話で安否確認を行う「スマイル電話」をスタートした。支援を必要とする方が増加する中で、除雪や移動の支

援などを行っていたく人手は決して充分ではない。
問 民生委員と行政との情報共有はうまくいっているか。

答 毎月1回開催される民生児童委員協議会で、情報共有をしている。

問 民生委員の待遇改善の考えは。

考えていない。



低温で大雪になったこの冬、3月末になっても雪だし作業が続いている。

問 存続にどの様な問題意識を持ってしているのか

答

人口減少と少子高齢化を含めた対策が必要



太谷 修助 議員

問

【大系線存続】
利用促進の取り組みはどの様な組織で、いつごろからか。

答

昭和40年から始めたのが長野県、新潟県、松本市から糸魚川市までの沿線自治体、議会商工団体で構成する「大系線利用促進輸送強化期成同盟会」。「活性化協議会」は平成31年からJR西日本と沿線市町村との取り組みで、共に生活利用や観光利用の強化とあったところに注力している。

問

人口減少と少子高齢化は全国的な問題であるが、どのような対策で講じるのか。

答

利用者の増加対策が最も重要な課題で、日本海側と長野県中央部を広域的に結ぶ重要な路線であるという共通の認識に立ち利用促進に取り組んでいきたい。

問

生き残り策としては、どのようなものが考えられるか。

答

一昨年からの新型コロナウイルス感染症の影響もあり、利用を通じた活性化の取り組みをやり切れていないのが実情で、あらためて生活利用と観光利用の強化に取り組んでいくことに尽きると思う。

問

通勤通学の足の確保にとらえているか。

答

白馬・大町間は約120人程度。南小谷以北は令和2年度の実績で9人。利用者数は格段に違うが、日常生活に欠かせない路線であることには変わりはない。

問

インバウンド再開後の利活用方法は。

答

外国人観光客が戻ってきたとき、北陸新幹線の敦賀延伸を見据え、山と海をつないだ広域周遊ルートが実現できると期待している。JR西日本支社から期成同盟会へ今後の持続可能な公共交通の実現に向け、沿線地域を含め議論したいとの提案があった。振興部会を立ち上げ、廃止や終期ありきの議論ではなく、沿線地域の振興に資する持続可能な路線になるための方策について幅広い議論をすることとした。バスへの転換といった報道もされたが、期成同盟会との認識とは大きく異にしている。

問

風評被害的批判をされた人はいなかったか

答

誹謗中傷がないように丁寧にお願ひして

【村内新型コロナウイルス感染者への対応】

問

村内の感染した教職員・保育士の人数は。

答

教職員で8名、保育士4名。

問

公的職場の皆さんが、二次的被害に遭わないようにすることが大切では。

答

学校や保育園では、感染が発生した場合、保護者に「絆メール」



南小谷駅に並ぶ、在りし日の特急「しなの」と「あずさ」の勇姿。都会からのゲストを白馬方面へ輸送していた。こんな風景が再び訪れることを願うばかりだ。

で、お知らせや注意喚起をしている。その際、必ず感染者やその家族関係者に対する誹謗中傷がないようにお願いしている。今までに学校や保育園、教育委員会等に風評被害のような批判をされたという情報はない。

総務社会委員会

新村長へ政策提言と意見交換会開催

昨年度より本委員会で取り組んでいる、「アフターコロナにおける村政あり方研究会」のテーマ、①村有地・土地開発公社を活用した移住定住促進。②ふるさと納税による財源確保と運用、について、昨年は村財政に関する研修会を役場職員に講師を依頼して開催し、さらに北アルプス圏域の調査を実施しました。これらを取りまとめ新村長へ政策提言を実施します。

本年は教育行政の課題や教育現場におけるコロ

ナ感染防止、老人福祉等の最前線の現況と課題について、教育関係者や民生児童委員との懇談会を開催したいと考えています。



産業経済委員会

観光組織のあり方を主題に研究を継続

【観光課】 観光組織のあり方研究会を立ち上げ、観光局やHVT、振興公社から事業への取組や活動内容について聞き取り調査を行いました。また、長野県観光機構の平尾勇氏を招いての研修会、小谷村(株)道の駅おたりへ視察研修を実施。年内にはあり方について取りまとめ行政へ意見書を提出する予定です。

【農政課】 高収益作物の取組について、県との研究会や懇談会への参加を通して方向性を決定しました。適作物が無い中、大豆を高収益作物に加える要望をしました。

【建設課】 まちづくりマスタープランのワークショップへの参加や景観計画策定審議会への傍聴を通して事業の進捗状況や内容の理解を深めました。

【上下水道課】 上下水道料金の見直しについて調査を継続中です。

今後は村外県外への先進地視察研修を行い、自己の研鑽と村民の代表として責務に努めて参ります。

白馬村議会基本条例の一部改正(案)に対する意見を公募します。

募集期間は令和4年4月7日(木曜日)から5月9日(月曜日)午後5時15分まで
改正案等につきましては、白馬村ホームページQRコード添付をご覧ください。



村民との意見交換会のお知らせ

日時

10月16日(日曜日)
午後2時からの予定

場所

ふれあいセンター2階 学習室

※コロナ感染拡大により変更の可能性あり

新体制になりました。よろしくお祈いします。



山岸事務局長(左)と宮下主事(右)

議会だよりもマチイロ開始しました

スマホアプリで白馬議会だより配信中!!



マチを好きになるアプリ



ご意見をお寄せください。85-0725(直通)72-7001(ファックス)

夢、私たちに。

わたしのひとこと



白馬に魅了されて

八方口 太田 純邦

私が白馬を訪れて早くも半世紀がたちます。初めて白馬に来た時、白馬の冬山の美しさに感動したことを今でも懐かしく思い出します。帰りの車のバックミラーに映る北アルプスの山々の美しさに「また白馬に来よう」と思いました。当時、高速道路は調布から大月までしかなかったのですが、四季折々の白馬の山々の美しさに魅了され何度も白馬を訪れ、その後、白馬の宿で居候をしたこともありました。

父親は登山が好きだったこともあり、子供の私たち兄弟を日帰り登山に連れて行ってくれました。その影響か山が好きになり、学生のころは、クラブ活動でキャンプや奥多摩・丹沢の山を登り、友人と夜行列車で様々な山を登りに行きました。

30数年前に結婚し白馬に移り住むようになり、今は先代の仕事を受け継いで地域に少しでも貢献できればと思っています。



誰でも使える交通手段を

堀之内 田内 絃美

幼少期から白馬には遊びに来ていましたが、結婚を機に白馬に移住し今は子育て奮闘中です。

これからの白馬での生活で切に願うことがあります。それは生活の足となる交通手段です。

白馬では今ふれあいタクシーがありますが、バスの運行が出来ればいいと思います。予約することもなく自由に乗り降りが出来、子供達も使用出来ることで、小・中・高の登下校にも使用できるのではないのでしょうか？図書館なども北城にあり、神城の子供は親が乗せていかないと使用することも出来ません。現在スクールバスの試運転などを行っていますが、スクールバスにもかなりの費用がかかります。

誰でもが使用できるバスがあれば費用削減の他、高齢者にとっても観光のお客様にとっても利用しやすいのではないのでしょうか。



ウェルカムな村に

みそら野 鈴木 均

コロナ禍と手術で2年ぶりに滑った。70代も半ば、若い時のようにガムシャラには滑れない。コロナで自粛か、平日なのにゲレンデにはかつての往年スキーヤーは少ない。

白馬村に移住して10年余り。色々感じることはあるが、その一つに行政は移住・定住にウェルカムといえるのだろうかということ。県内の多くの自治体では移住促進を目指して、若干の優遇策を含めてさまざまな工夫を努力しているが、白馬村は「ぜひ来てください」ではなく、「来るならどうぞ」という冷たさがありはしないか。特別なことをしなくても白馬村には来たい人は来るよという大名気質(?)。インバウンド頼みでは少子高齢化は防げない。

若者、子育て世代に魅力があり、豊かな自然と山を楽しみながら働ける村の環境をどうつくるか、何が足りないのか、もっと真剣に考えてもいいのではないだろうか。

あとがき

低温で大雪となった厳しい冬も、ようやく春の兆しを感じられるようになりました。

現実なのかと疑うようなロシアのウクライナへの軍事侵攻、決して許される行為ではありません。いまだに続く東北の大地震、収束がみえない新型コロナウイルス感染症、嫌なことばかりですが、冬季オリンピックで村出身の渡部兄弟が、銅メダルを獲得した明るい出来事もありました。

皆で支え合いながら元気で活力のある村になるよう議会活動に頑張りたいと思います。また、春を告げる福寿草が、私の家の周りに咲き始めました。
(横川 恒夫)

議会広報特別委員会

- | | |
|-------|--------|
| 委員 長 | 田中 麻乃 |
| 副委員 長 | 尾川 耕 |
| 委員 | 増井 春美 |
| 委員 | 横川 恒夫 |
| 委員 | 加藤ソフィー |
| 委員 | 切久保達也 |
| 委員 | 丸山勇太郎 |
| 委員 | 太田 伸子 |

白馬議会だより 140号 令和4年4月30日発行
発行 長野県白馬村議会 編集 議会広報特別委員会 印刷 PO印刷(株)
〒399-9393 長野県北安曇郡白馬村 0261-72-5000 FAX0261-72-7001
http://www.villhakudajp/assembly/assembly.html E-mail ghka@villhakudaj.jp